



コンピュータウイルスってなに

コンピュータにしかけられたいたずら

コンピュータの^{りよう}利用が^{きゅうそく}急速に^{はってん}発展するにつれ、^{ただ}正しく^{しよう}使用されているコンピュータにいたずらをしかける人が^{ひと}でてきました。^み見ている^{がめん}画面に^{かんけい}まったく^{がめん}関係のない画面がいきなり表れたり、^{あわ}作った^{つく}プログラムを^{しよう}使用できないように^けされたり、^{じようほう}情報が^し知らぬ間に^{あだ}ぬすまれたりすることが、^{かずおほ}数多く^{はっせい}発生してきたのです。

こうしたコンピュータにしかけられたいたずらのことを、コンピュータウイルスとよんでいます。ウイルスは、コンピュータを^{うご}動かすプログラムの一つです。

- 1) ^{かんせん}感染する = ^{ただ}正しいプログラムの^{なか}中に入り込むこと。
 - 2) ^{でんせん}伝染 = ^{べつ}別のプログラムの^{なか}中に^{なか}自分と^{じぶん}同じものを^{おな}コピーすること。
 - 3) ^{はつびょう}発病 = ^{はつびょう}ウイルスプログラムがある^ひ日、^{とつぜん}突然、^{はたらき}はたらきはじめること。
- 1) ~ 3) のようなはたらきをするので、^{びょうき}病気にたとえてウイルスといっているのです。

ウイルスからコンピュータを守るために

コンピュータウイルスに^{いん}しん入^{いん}されないため、^{あんぜんたいさく}いろいろな安全対策がとられています。ウイルスを^{はっけん}発見して^{たいじ}退治する^{きのう}機能は、「ワクチン」とよばれています。

^{あた}新しい^{あんぜんたいさく}安全対策をとっても、^{やぶ}さらにそれを^{いん}破^{いん}ってしん入するウイルスもあり、このウイルスとワクチンのいたちごっこはつづきそうです。(監修 小川 格)

